

冬期間におけるスリップ事故の発生状況

【1】スリップによる交通事故発生状況(過去3年間の人身交通事故)

項目	期間	H20年12～ 21年3月	H21年12～ 22年3月	H22年12～ 23年3月	3年平均
全事故		2,734	2,538	2,749	2,674
スリップ事故		613	689	865	722
構成率		22.4%	27.1%	31.5%	27.0%
死者数		10	11	17	12.7
スリップ事故による 死者数		0	2	2	1.33
構成率		-	18.2%	11.8%	10.5%

県内の主な冬期間閉鎖道路

- ◎ 国道286号(笹谷峠) 11/4～4/27
- ◎ 国道347号(鍋腰峠) 12/2～4/26
- ◎ 西吾妻スカイバレー 11/15～4/26
- ◎ 蔵王エコーライン 11/3～4/27
- ◎ 鳥海ブルーライン 11/7～4月下旬
- ◎ 月山公園線 11/10～6月下旬

【2】スリップを起こした要因

安全運転義務違反が約9割を占める!!

安全速度【30km/h以下での事故が約5割】

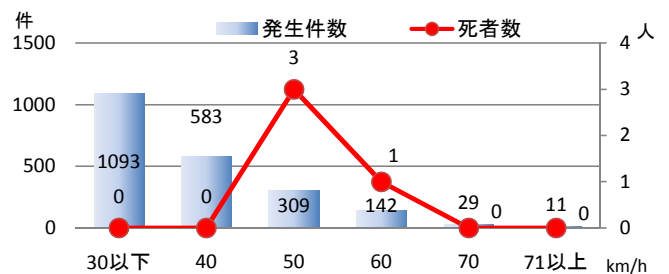
ブレーキ操作不適

ハンドル操作不適

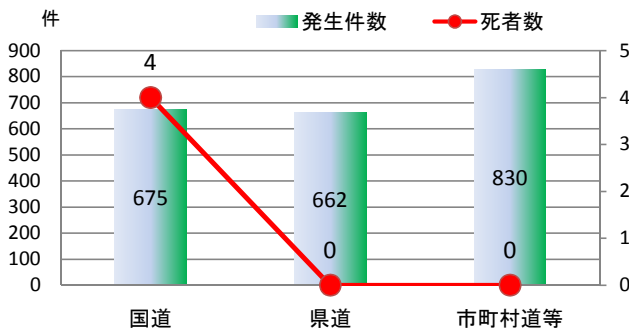
等の違反に注意!!

【急加速・急ブレーキ・急ハンドルは避ける】

◎ 事故車両の速度(過去3年スリップ事故累計)



【3】道路別発生状況(過去3年スリップ事故累計)

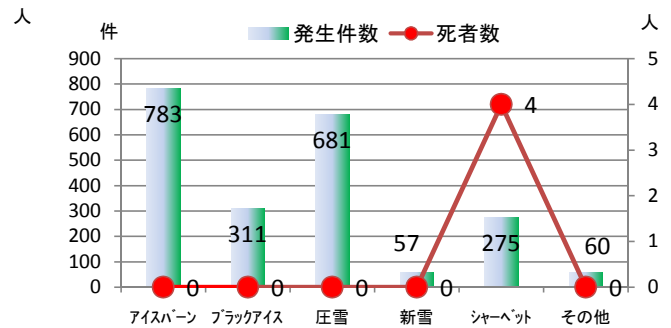


※ 国道に高速道23件を含む

【死亡事故の状況】●は死亡

- H21.12.18 東根市 国道48号 シャーベット 普乗(60歳男●・同乗20歳男●)がスリップし対向車線に進出し大貨(43歳男)と衝突
- H22.12.18 米沢市 国道121号 シャーベット 普乗(51歳女●)がスリップし対向車線に進出し中貨(55歳男)と衝突
- H23. 3.23 鶴岡市 国道112号 シャーベット 軽貨(73歳男●)がスリップし対向車線に進出し普乗(62歳男)と衝突

【4】路面別発生状況(過去3年スリップ事故累計)



冬道の安全運転5則

- (1) スピードは、夏場より**10キロ以上減速**する。
- (2) **車間距離は路面乾燥時の2倍以上**とする。
- (3) **急加速、急ブレーキ、急ハンドル**等の急激な操作を避ける。
- (4) 視界不良時は、**前方をよく見て早めに徐行**する。
- (5) 危険がいっぱい。**追い越しはしない**。

早めのタイヤ交換
で事故防止を!!

